

森と自然の育ちと学びフォーラム2023

奈良県の自然保育について



R6.2.29
奈良県 子ども・女性局
奈良っ子はぐくみ課
高見 麻依奈

目次

-Contents-

01 奈良県奈良っ子はぐくみ課について

02 自然保育への取組経緯

03 奈良っ子はぐくみ条例・基本方針について

04 奈良っ子はぐくみ自然保育について

05 課題と今後の展開



奈良っ子はぐくみ課のご紹介 ～係と担当業務について～

奈良っ子はぐくみ係

- 奈良っ子はぐくみ条例、奈良っ子はぐくみ基本方針
- 就学前教育の推進
 - ・自然保育
 - ・アドバイザー派遣
- 保育士試験・登録
- 保育士研修(新規採用・中堅職員)
- 保育士のキャリアパス制度(キャリアアップ研修、奈良県独自のキャリア認定制度)
- 働き方改革
- インクルーシブ保育
- 認可外保育施設(立入調査等)



要check!

保育係

- 保育人材確保
- 保育所・認定こども園の認可等
- 保育所等における給食関係
- 保育所における健康及び安全(園バス)
- 食育の推進
- 各種国庫補助に関する事など

放課後児童・手当係

- 総務全般
- 放課後児童クラブ
- 児童手当、児童扶養手当
- 特別児童扶養手当

自然保育への取組経緯

年度	県の取組
H30~	● 森の育ちと学び自治体ネットワークへの参画。他府県の事例収集、研修会への参加等（～R3）
R3	● 森のようちえん全国交流フォーラムが奈良県（曽爾村）で開催 [主催：NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟、奈良県後援] ● 奈良っ子はぐくみ条例（R4.3制定） 自然体験等の機会の提供について明示 ● 奈良っ子はぐくみ基本方針（R4.3策定） 自然保育の推進を重点テーマのひとつに位置づけ、認証制度の創設を明示
R4	● 自然保育推進の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度創設 ・奈良っ子はぐくみ自然保育推進事業補助金制度創設 ・奈良っ子はぐくみ自然保育者育成研修の実施 ・奈良っ子はぐくみ自然保育アドバイザー派遣の実施

県が目指す就学前の子どものはぐくみ

県内の就学前の子どもたちが、**在籍する施設（保育所、認定こども園、幼稚園等）にかかわらず、子どもの生活を取り巻く環境に応じて良質かつ適切な教育・保育**を受けることができるよう、はぐくみの環境づくりを支援

条例制定のねらい

県が目指す就学前の子どものはぐくみを一層進めるため、「奈良っ子はぐくみ条例」を制定（R4.4.1施行）し、**考え方や施策の展開方策**を明示



奈良っ子はぐくみ条例について

条例の4つの基本的施策

I 子どもの健やかなはぐくみ

【乳幼児のはぐくみ】(第8条第2項)

県は、子どもが自己を大切な存在であると認識し、かつ、他者を尊重する精神を培うことができるよう、芸術、自然等に親しむ機会の提供、乳幼児期からの遊び及び運動の機会の提供その他の必要な施策を講ずるものとする。

【はぐくみの場の充実】(第9条第1項)

県は、子どもが地域において多様な経験を積み重ねることができるよう、文化芸術活動、スポーツ活動、自然体験活動その他の体験活動の機会及び他の世代との交流の機会の提供その他の必要な施策を講ずるものとする。

II 経済的に困窮している子育て家庭に対する支援

III 困難な状況にある子どもに対する支援

IV 子育て家庭に対する包括的な支援体制

▶ 「I. 子どもの健やかなはぐくみ」には「自然に親しむ機会の提供」や「自然体験活動の提供」を県の施策として明示



奈良っ子はぐくみ基本方針について

就学前の子どものはぐくみについて、保護者、保育者、地域で就学前教育に関わるすべての人の「意識の共有と実践」のためのガイドラインとして策定（令和4年3月）

基本方針の目標

「学ぶ力・生きる力」の土台となる

「**自己肯定感**」、「**他者への寛容なところ**」、「**健やかな身体**」をはぐくむ

目標設定の趣旨

- 心身の発達が顕著であり、非認知能力獲得効果が高い乳幼児期における「**就学前教育**」として、「学ぶ力・生きる力」の土台を築くことが重要
 - ▶ 3つの土台のはぐくみ = 「**自己肯定感**」、「**他者への寛容なところ**」、「**健やかな身体**」
※これらは保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領において示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と等しいもの

重点テーマ

- 奈良っ子はぐくみプロジェクトの中でも**特に重点的に取り組むテーマ**

① **自然保育** ② インクルーシブ保育 ③ 食育

- ▶ 子どもの豊かな体験につながる自然保育を実現するために、県内の保育施設を対象とした、**奈良県版「自然保育認証制度」**を創設します。
当制度では、自然体験の多寡だけではなく、子どもの体験の質に着目した認証を行うこととし、「奈良らしさ」を追求するとともに、**取組を支援していきます。**



先進事例の
情報収集も！

奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度ができるまで

『奈良県版自然保育認証制度策定WG』の発足

- ★ 委員構成・・・学識経験者2名 ▶ 県内養成校の准教授、他府県の認証制度創設委員であった教授
 - 保育関係者2名 ▶ 奈良県保育協議会、奈良県私立幼稚園連盟 会長
 - 実践団体1名 ▶ 森のようちえんウィズ・ナチュラ 代表
 - 行政関係者1名 ▶ 自治体ネットワーク加盟市町村(吉野町)
 - その他(オブザーバ) ▶ こども・女性局長・次長、公私保育園・認定こども園所管課、私立幼稚園所管課、公立幼稚園所管課
- ★ 3回のWGを開催・・・第1回WG<5月> ▶ 委員の顔合わせ、奈良県版自然保育認証制度創設について
 - 第2回WG<7月> ▶ 自然保育認証制度(素案)の提示、自然保育の普及方策について
 - 第3回WG<9月> ▶ 自然保育認証制度(最終案)の提示、園庭における自然保育について

★ 実践園の見学

- 自然フィールド
- 園庭



森のようちえんウィズ・ナチュラ
(認可外保育施設)



奈良文化幼稚園
(幼稚園型認定こども園)



奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度

認証制度実施要綱の構成

★ 認証類型・・・1区分

- 第1条 奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度の目的
- 第2条 定義
- 第3条 奈良っ子はぐくみ自然保育の基本理念
- 第4条 認証の申請及び審査
- 第5条 認証基準
- 第6条 認証の有効期間
- 第7条 認証内容の変更
- 第8条 認証の返上
- 第9条 活動報告書の提出
- 第10条 認証の取消し
- 第11条 現地確認等
- 第12条 県の役割
- 第13条 認証団体の役割

第6条 認証基準

- 1 実施団体
- 2 自然保育(指導計画等)
- 3 活動時間
 - ★ 週あたり平均して概ね6時間以上
- 4 活動場所
 - ★ 園庭・園庭外
- 5 人的基準
 - ・保育者の配置人数
 - ・有資格者の有無
- 6 質の確保
 - 自然保育研修の受講、内部研修の実施
- 7 安全対策・緊急対応
 - ・安全対策マニュアルの作成
 - ・緊急時の避難対応
 - ・賠償保険加入 等
- 8 個人情報の保護

※対象年齢は0～5歳児



奈良県の認証制度の特徴

自然保育のメリット

子どもたちだけでなく、保育者自身が自然と触れ合うことで心身がリラックスし、自然体な素の気持ちで子どもたちと一緒に過ごすことができます。

「奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度ガイドライン」より

『**認証制度**』と『**自然保育の普及**』の両輪を進めることで裾野を広く展開し、県内の**自然保育の質の向上を目指す。**

1. 認証制度の構築・運用

○保育所保育指針（「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」など）や幼稚園教育要領等（「第2章 ねらい及び内容」の2 環境、3 内容の取扱いの項など）において、自然と親しむ保育が明文化されている

⇒どの施設においても“一定”自然保育は実践されている

■各施設が、より前向きに、またより良い形で自然保育に取り組んでいただくため、自然保育を推進するモチベーションとして認証制度を創設。

⇒より多くの施設が取得を目指せるような基準の設定

2. 自然保育の普及・啓発

【認証を目指す団体へ】

■自然保育を実践することの意義や価値、実践事例のPRを通じた普及活動の展開。

【認証を受けた団体へ】

■グッドプラクティスの共有の場を提供するなど、自然保育の質の向上を目指した啓発活動の展開。

⇒認証団体の自然保育の質の底上げ

○取組内容○

保育者育成研修、自然保育アドバイザー派遣、自然保育取組発表会

奈良っ子はぐくみ自然保育ガイドライン

奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度

自然の中にあるものすべてがはぐくみの要素です。
“自然保育”で子どもたちの心をはぐくみませんか？

はぐくまれること
命を大切に
する心
好奇心
探求心
発想力



奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度概要

『奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度』は、一定の基準を満たした“自然保育”に取り組んでいる園を認証し、奈良っ子の豊かな体験に繋がる自然保育の普及を促進する制度です。

■認証の対象

県内の保育所・認定こども園・幼稚園・認可外保育施設・継続的に保育を行っている団体



■認証の基準

- 園の指針や要綱を踏まえた保育内容
- 自然保育活動時間
- 自然保育活動場所
- 保育者の配置人数
- 保育者の資格有無
- 保育者の自然保育に関する研修実施
- 子どもの安全確保・緊急時の対応
- 利用者の個人情報の保護

■認証の流れ

奈良県HPから申請書をダウンロード

所定の申請書を作成し、届出

申請を受理した園の審査(必要に応じて現地確認)

認証書を交付

問い合わせ先
奈良県奈良っ子はぐくみ課
奈良っ子はぐくみ係

TEL: 0742-27-8733

HP: <https://www.pref.nara.jp/1648.htm>

-自然保育に関するよくある質問-

自然保育って？

自然保育とは、多様な自然環境等を積極的に活用した様々な体験活動を通して、子どもたちの豊かな人間性をはぐくみ、心身の調和のとれた発達的基础を培うことを目指して行われる保育です。



どんなメリットがあるの？

自然の大きさや美しさ、不思議さに気づくことで、子どもの「学ぶ力」「生きる力」の土台である非認知能力(自己肯定感・自尊心・意欲・忍耐力・他者への寛容なこころなど)や健やかな身体をはぐくみへと繋がります。

また、子どもだけでなく、保育者自身が自然と触れ合うことで心身がリラックスし、自然体な素の気持ちで子どもたちと一緒に過ごすことができます。

どこで活動をすればいいの？

自然フィールドでの自然保育

山・森・川・田畑といった自然豊かな園庭外のフィールドでのびのびと活動すること。

園庭内での自然保育

園庭に菜園・ビオトープなど、多様な生き物が棲む豊かな自然環境の中で活動すること。



チェックリスト

※この欄には、ご自身の自然環境が満たせている項目にチェックを入れてください。

-園庭における自然保育の事例-

多様な自然環境等を積極的に活用した体験活動の事例をご紹介します。

植物や生き物と関わる環境

- ロビオトープがあり、様々な生き物が棲む豊かな場所で見ることができ、口寄せなど、色とりどりの植物が観察されており、多様な植物に触れることができる。
- フェンス柵を利用した植物や、低い姿勢で楽しめる芝生や雑草があり、緑と触れ合うことができる。
- 菜園や田んぼがあり、食の大事さや食物を育てる様子で、楽しさを学ぶことができる。

樹木と関わる環境

- 実のなる樹木が数種類あり、園内に木陰があるなど、木と触れ合うことができる。
- 竹や材木など、地域資源を活用した道具で遊ぶことができる。
- ロープクライミングやツリーハウスなど、樹木を活かした遊びができる。
- 木製のベンチやテーブル、デッキなど、木のぬもりを感じて穏やかに活動することができる。
- 木登りができる樹木や崖山、斜面があり、自由に走り回ることができる。
- トンネルやロープ、樹木、草花などの要素が組み合わされ、森にいるような自然保育ができる。

水辺等における環境

- 水場やたき火場など、四季に応じた自然環境で遊ぶことができる。
- 道具を使って水を汲んだり水路を作ることができる。

奈良っ子はぐくみ自然保育認証書

奈良っ子はぐくみ自然保育認証書

施設(団体)も、奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度実施要綱第4条に基づき、奈良っ子はぐくみ自然保育を行う施設(団体)として認証します。

【認証番号】

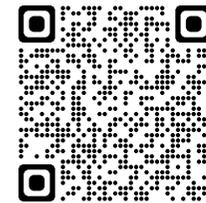
【認証期間】 年 月 日から 年 月 日まで

奈良県知事 荒井 正吾

※(奈良県産材の和紙を使用)

現在13施設(団体)を認証！！

■ 公立幼稚園から認可外保育施設、地域の保育団体など幅広い施設を認証しました！



奈良県奈良っ子はぐくみ課のHPはこちら



奈良県の自然保育推進事業

自然保育者育成研修

- ▶ 対象者：奈良県内の保育所、幼稚園、認定こども園、認可外保育施設、保育団体、市町村担当職員
- ▶ 内容：
 - 自然保育の意義
 - 自然保育における安全管理
 - 園庭での自然保育で活用できる草花 など..

★ 参加者の感想

- なぜ自然保育が大事なのか、**幼児期における自然活動の必要性を詳しく学ぶことができた。**
- 実践事例の紹介で、具体的な活動内容を聞いて参考になった。**自園でも早速実践したい。**
- 子どもたちが自分自身で危機管理能力を身につけられるような大人の関わり方が大事だと勉強になった。**他園の先生との交流の場にもなって刺激をもらった。** 等



ロープワークの様子



実践園訪問研修の様子

自然保育アドバイザー派遣

自然保育の充実と質の向上を図るため、園の要望に合った講師を選定し、自然保育アドバイザーとして派遣。

自然保育実践事例発表会

県内の保育所・幼稚園・認可外保育施設・保育団体、市町村職員を対象に、奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度の認証を受けた4施設による実践事例発表会を開催しました！

100名程と大変多くの方にご参加いただき大盛況♪

食育の取組事例発表と合わせて開催！



なら歴史芸術文化村ホール

自然保育推進補助事業

認証取得施設(団体)を対象とした補助金事業
上限額15万円(補助率1/2)



令和5年度の就学前教育推進事業

就学前の子どものはぐくみを推進するため、「自然保育」「食育」「芸術」をテーマに、保育の実践に役立つ「奈良っ子はぐくみワークブック『ひとたね』」を制作しました。



奈良っ子はぐくみワークブック
ひとたね
"hitotane"
Narakko Hagukumi Workbook
Your childcare becomes the "hitotane of beginnings".

「奈良っ子はぐくみワークブック『ひとたね』」



令和6年3月以降公開予定! ▶▶▶

奈良っ子はぐくみ課 



自然保育の普及方策

- ・広報誌を活用して周知（保護者向けにもPR！）
→**県が全面的に進めているということ**で施設も取り組みやすくなる
- ・自然保育研修や実践事例発表会を実施し、保育者に参加してもらう機会を増やす
→研修は**先生同士の交流の場**にもなるので、他園の取組を知れるいい機会に♪ ▶**モチベーションアップにも繋がる！**
- 現地研修に参加することで、自然保育の必要性や保育の取組を実際見ること**で自園で実践できる方法**を見つけてもらう

実践する上での悩みを解消

- ・保育者が自然保育を実践したくても、施設の意向と合わない・・・又は園長先生が実践したくても、各保育者と連携がうまくとれない
→**自然保育アドバイザー派遣**などの活用することにより、**施設の意向に寄り添った形での取組方法を提案**
- ・自然保育に取組んでみたいけど、何をしたらいいかわからない
→県が実施する自然保育研修や取組事例発表会へ参加し、**自園でできることのヒントを発掘**してもらう

補助金の活用

- ・自然環境を整えたいけど、金銭面で不安
→自然保育推進事業補助金を活用することで、**自然保育環境を充実させる**（フィールドや園庭の整備、活動備品の購入 等）



ご清聴ありがとうございました。

